

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	回答
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	1	経験のなさそうな若い先生が担当となり、オムツのあて方もわかっていない様子だった。オムツとパッドの両方を使っているが、パッドが吸水面でない反対側（裏側）をあててしまい、吸水されずに漏れていたことがあった。ちゃんと見てくれているのか大いに不安であった。	若手スタッフのお子様への未熟な支援が、ご不安、ご心配を抱かせることとなりましたこと、心よりお詫び申し上げます。新任職員には、より具体的・実践的な生活支援技術の指導を強化して参ります。さらに、お子様ご々の特性・支援上の留意点を情報共有し、常に安全で快適な支援が提供できるよう努めて参ります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	1	0	設備を見る機会がない。	エレベーター、廊下に手すり、事務室側の玄関にスロープを設置しております。設備面でのご質問がございましたら、いつでもお声がけください。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16	2	0		
	⑤	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	1	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	10	3		今年度はコロナ感染防止のため、外部との交流は行っておりません。コロナが落ち着いたら、以前も行ってたコロロ発達療育センターとの合同ダイナミックリズム等を行う予定です。
保護者への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	8	3	保護者会等に参加したことがないためわからない。	2ヶ月ごとに親御さん向けの療育講座を開催しております。コロナ学舎通信で、日程・テーマをお知らせしています。また、コロナが落ち着いたら、親子で参加できる企画や懇談会の開催を計画する予定です。お便り等でお知らせいたします。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	1	0	苦情を言ったことがない。	五乃神学園では、苦情解決責任者を設置しております。（現在は、管理者が兼務）日頃お気づきのことや、御不快にお感じのことがございましたら、ご遠慮なくお話しくださいますようお願いいたします。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2	0		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	17	1	0		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	3	1		マニュアル類は、玄関に常設しております。内容に関するご質問がございましたら、いつでもお声がけください。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1	1		年に2回、避難訓練を実施しております。コロナ学舎通信や羽音便りに実施後、訓練の様子を掲載しております。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	13	4	0		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	1	0		今後も、お子様・ご家族の皆様からのご意見ご要望の応じた、支援の提供に努めて参ります。ご要望等は、お気兼ねなく、お申し出ください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するア

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1	0	配置数は適切であるが、重度のお子さんが多いので、日によってはもう一人職員を配置できるとよりよい活動プログラムの提供ができる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	引継ぎ会や定例会議を行い、職員が共通意識をもって支援している。会議で目標の設定と振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	オムツとパットの扱い方に関する不安の声が挙がったので、職員間で改めて正しい取り付け方について確認を行った。また、面談や日頃の連絡帳でのやりとりの中から保護者の方の意見を吸い上げ、今後の支援に活かせるようにしたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0	施設内で結果が閲覧できるようにするとともに、運営法人のホームページで公開を行っている。保護者の方にはその旨を通知している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	0	デイは対象外だが、学園として第三者評価を受けており、評価結果を業務改善につなげるようにしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	今年度はe-ラーニングを導入し、研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	子どもの現在の発達段階を適正に評価した上で、保護者の方と面談を行い、ニーズや課題を共有し、計画を立てている。今年度は、コロナ感染予防のため、電話でニーズの聞き取りを行った。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	昨年度、アセスメントシートの内容変更を行った。今後も、継続的にお子さんの状況を把握し、個々の発達支援に有効活用できるような項目や内容を検討していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	その時々の子どもの状態に応じて、その日のリーダーが主体となってプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	リズム体操、戸外歩行、製作等、その日の子どもの状態に応じて柔軟にプログラムを立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	0	平日は、帰宅後に落ち着いて生活できるよう活動量や情緒の安定に留意し課題や活動を設定している。長期休暇には、生活リズムが整うよう運動量を増やしたり、季節に応じた取り組みを行うなどしている。（休日については今年度、コロナ禍のため閉室。）
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	集団の中で個別にアプローチするプログラムと、個別に課題に取り組むプログラムと両者を組み合わせ計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	0	開始前に内容や役割分担を確認している。支援中も内容や役割は即時にスタッフ間で共有できるようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	0	子どもの様子や気付いた点等引継ぎ事項をまとめ、日誌に記入し情報を共有するようにしている。緊急の事案は、メールやラインで迅速に共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	毎日活動日誌に個々の具体的な様子を記録し、気になることはその日のうちに共有、会議の場で取り上げるようにしている。日誌の引継ぎ事項への記入を心がけているが、確実に情報共有できるよう徹底していきたい。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	6ヵ月ごとにモニタリングを実施し、計画の見直し、新たな目標設定の必要性等を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	0	活動は基本活動をはじめ、様々な内容を組み合わせ支援を行っている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	サービス管理責任者と役職者が出席している。	

関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	0	年度はじめに行事予定について確認し、学校の送迎時や支援者会議に出席し、子どもの情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4		医療的ケアが必要なお子さんは現在在籍していないため、今後利用希望がある場合は検討していく。発作時の対応は契約時に保護者と細かく打ち合わせている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0	今後必要に応じて情報共有の場を設けていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	0	現状、こちらから提供することはしていないが、事業所や保護者から要望や、個々に必要性があれば提供していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	0	公的な専門機関との連携の機会はないが、今年度羽村市の自立支援協議会に児童部会が設置され、管理者が委員として参加しているので、必要に応じて連携・相談を行ってきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	今年度はコロナ感染防止のため、そのような機会を設けることができなかった。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	0	児童発達管理責任者が、羽村市自立支援協議会に委員として参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	連絡帳でのやりとりや送迎場面で必要な情報は共有し、個別支援計画の面談等で子どもの状態について共通理解の場を設けている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2	0	デイで行っている支援内容や対応法を解説したお便りを配布したり、要望があれば、家庭療育の方法についてアドバイスをしている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	必要に応じて電話相談や、個別支援計画の面談とは別に面談を設定し、助言をしている。今年度は、感染予防のため電話相談が主となった。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	0	今年度はコロナ感染防止のため、そのような機会を設けることができなかった。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	保護者からの苦情をやかで適切な対応ができるよう苦情解決責任者を置いている。今後も、法人本部の指導をあおぎ、体制整備を進めていく。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	毎月法人発行のおたより（学舎通信）でレクリエーションの様子や日々の活動の様子を伝えている。合わせて連絡事項や療育プログラムの解説を掲載した放デイのご家族向けのお便りも毎月発行している。今後も活動の様子や療育内容等、より充実した内容を盛り込んでいきたい。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	子どもの様子は常に観察し、変わった様子があればすぐに保護者に伝えるよう努力している。
非常時等	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	1	今年度はコロナ感染防止のため、そのような機会を設けることができなかった。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	施設内で閲覧できるように整備しているが、改めて周知したい。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年2回避難訓練を実施している。お便り等で訓練後は保護者に報告している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	虐待防止委員会を開催し、支援の振り返りや見直しをしている。法人主催の人権研修に参加している。

の 対 応	㊸	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	今まで拘束の例はないが、今後、身体拘束の必要性が生じた場合は、組織的に決定し、子どもと保護者への事前説明を行い、同意を得た上で行っていく。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	1	現在アレルギーを持つ児童の利用はない。必要があれば医師に指示をおおいでいく。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	その日のうちにヒヤリハットを作成し、全職員が閲覧できるよう掲示し、共有している。半期ごとに行われる、学園内の事故防止委員会で、ヒヤリハットの内容を共有し、原因分析を行い予防・改善に向けて検討している。